

日本美しの森 お薦め国有林

人は、生き物は、森に生まれ、森に守られて暮らしてきました。

幾重にも連なる樹々の緑とふれあい、

自然の息吹を肌で感じるとき、

きっと私たちの心には、新たな生命の力が芽吹いてくるはずです。

日本の国土の70%は、美しく豊かな森林につつまれています。

林野庁では、みなさまに広く森林に親しんでいただけるよう、

全国の美しい国有林に「レクリエーションの森」を展開しています。

この中から、特にみなさまに訪れていただきたい森を

「日本美しの森 お薦め国有林」として選定しています。

利用する皆様への国有林からのお願い

- 1 動植物の保護にご協力ください。ペットの連込みはマナーを守り、周囲の環境に十分配慮してください。
- 2 樹木を損傷したり、林産物を窃取したりした場合は、法により罰せられることがあります。保安林内では、下草の採取等も禁止されています。
- 3 歩道、広場等の区域外への立ち入りはお控えください。指定地外でのキャンプは禁止など、それぞれのレクリエーションの森のルールに従ってください。
- 4 立入制限の表示がある区域には、絶対に立ち入らないでください。
- 5 休息などで立ち止まる場合には、落下するおそれがある枝がないか、落石の危険がないかなど、安全な場所であることを十分にご確認ください。
- 6 登山は自己責任が原則です。天候や登山情報を確認し、十分な装備で、登山計画を家族等に伝えるとともに、登山地域の警察署等に「登山計画書」を提出願います。併せて、登山口等に設置してある「登(入)山者名簿」に必要事項を記載の上、入山してください。
- 7 悪天候のときは入林をお控えください。
- 8 余った食糧を林内に棄てることはしないでください。ゴミ・残飯の持ち帰りにご協力ください。
- 9 喫煙は決められた場所をお願いします。タバコなどの火の始末にご協力ください。
- 10 山道は危険です。歩きながらの携帯電話等の使用は危険ですのでお止めください。写真撮影に際しても周囲の状況を確認し、他の利用者の迷惑にならないよう、十分注意してください。
- 11 小型無人航空機(ドローン)を飛行させる場合は、事前に最寄りの森林管理局又は森林管理署にご連絡の上、所定の手続きをとってください。

鹿の子沢風景林 アクセスMAP



アクセス方法

公共交通機関の場合:

- 北見バス勝山温泉停留所から徒歩約60分程度(4.5km)
- 北見駅(北見バス 訓子府・置戸・勝山・陸別線:60分)→勝山温泉停留所下車
※公共交通機関の乗り継ぎが不便なため、車でのアクセスをお薦めします。

車の場合:

- 女満別空港美幌バイパスから北見市を經由(国道39号、道道50号等:約90分)→置戸町市街(道道211号等、約30分)→鹿の子沢風景林駐車場

鹿の子沢風景林

住所:北海道常呂郡置戸町字常元

お問い合わせ先:

林野庁北海道森林管理局 網走中部森林管理署
電話番号:0157-52-3011

おけと湖・鹿の子沢レクリエーションの森管理運営協議会

(置戸町産業振興課)
電話番号:0157-52-3313

林野庁 国有林野部 経営企画課

林野庁レクリエーションの森 ホームページ

http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_gnori/katuyo/reku/rekumori/rekumori.html



Recreation
Forests of JAPAN

北海道

鹿の子沢 風景林

奇岩と滝と森林がつくる絶景



レクリエーションの森
林野庁

山紫水明、この意味を鹿の子沢で体感しよう。

かこさわ 鹿の子沢風景林案内図



地理的・地形的特徴

鹿の子沢風景林は、北海道の北東部に位置する置戸町に位置し、常呂川の上流である仁居常呂川流域に広がる山稜地帯に所在し、大雪山系の支脈に連なる丘陵性の地形をしめした平均標高450mの山地です。



鹿の子沢の紅葉

歴史的・文化的特徴

置戸町の景勝地といえば、必ず「鹿の子沢」と言われるほど多くの町民に知られており、正式に名前がついたのは昭和25年頃とされています。「鹿の子沢」の由来は作詞家の時雨音羽さんに置戸町での文化講演を依頼し、来町した際に、この沢の滝や岩を案内し、その時には沢や滝、岩にも名前が無く、後日、東京へ戻られた時雨さんから「鹿の子川」という詩が寄せられ、その詩中から「虹の滝、三本柱、忍び岩、雲突岩、糸引き滝」などの名前が付けられ、景勝地として「鹿の子沢」の呼び名がつけられました。(置戸町100周年記念要覧から)



初夏の虹の滝

気候等と植生・野生生物

オホーツク海型気候と亜寒帯の内陸性気候を呈しており、夏季は暑気が厳しく、冬季はオホーツク海沿岸一帯に到来する流水の影響で寒気が厳しい地域にあります。このため、森林は、亜寒帯性針葉樹であるトマツ、アカエゾマツ、広葉樹のシナノキ、ニレ、ミズナラ、カバノキ科等で構成されています。また、ハクサンシャクナゲの群生やエゾシカ、エゾライチョウ等も生息しています。



楽しみ方

鹿の子沢風景林は、針葉樹と広葉樹が入り交じる森林景観として、特に春の新緑、秋の紅葉時期は、頂上の展望台からのパノラマは素晴らしく多くの人々が訪れています。

また、往復90分程度の遊歩道には岩で作られた屏風のような屏風岩、巨岩が重なって出来た空間があり、中に入れる忍び岩、天を突くようにそそり立つ雲突岩等の、天然の奇岩が多く見られ、その奇岩を縫って、季節、場所により様々に変化する虹の滝、飛沫がほとんど上がることなく、岩肌を滑るように穏やかに流れ落ちる姿が細い糸のような糸引き滝があり、これらの景観と森林が醸し出す景観は絶景です。また、その渓谷の中には、「森の巨人たち百選」にも選ばれた三本柱があります。根元から三本に分かれた幹が天高く立つ姿は、地域のシンボルとして親しまれ、愛されています。



雲突岩

施設情報

- ・標高 390~820m
- ・面積 291.32ha
- ・入園料 無料
- ・開園期間 基本的には24時間利用可能、ただし岩場もあり、野生動物等も生息しているため夜間入山は控えて下さい。冬季(11月~翌年5月)は利用できません。
- ・宿泊 勝山温泉ゆうゆうコテージ(5km、車で約6分)、若者交流センター(素泊まりのみ、要予約)、民宿 寿光苑(約17km、車で約25分)(4月~11月)
- ・駐車場 約10台・無料